

## 1 研究主題

生き生きと輝き、伸びゆく児童の育成を目指したキャリア教育の推進

## 2 課題設定の理由

これからの予測困難な社会を生き抜いていくために必要な資質・能力の育成を目指した小学校学習指導要領が令和2年度より全面実施となり、3年目を迎えている。現行の学習指導要領において、児童に学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促すキャリア教育の充実を図ることが求められている。このため、小学校特別活動の学級活動の内容(3)として、「一人一人のキャリア形成と自己実現」が組み込まれ、小学校段階からの「キャリア教育」の実施が示された。

本校では、隣接する平野中学校と共に平成26年度より、教育課程特例校として小中一貫教育を推進し、小中9年間を通した児童・生徒像を共有し、実践を積み重ねてきている。本校児童の全国学力・学習状況調査ならびに埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査結果を分析すると、「自分によいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童の割合が低い傾向がわかった。さらに、学習を進めるにあたって「計画を立てる」「方法が自分に合っているか考える」と回答した児童の割合が低い傾向を見取ることができた。

このような課題を解決するために、特別活動に加え、各教科・領域の学習活動の中で「キャリア教育」を進める中で、自らのよさを実感させ、将来の夢・目標の実現に向け取り組んでいけるようにしることを目指し、本研究主題を設定した。

## 3 目指す児童像

本校では、「ひらの」の頭文字を用いた以下のような目指す児童像を設定している。

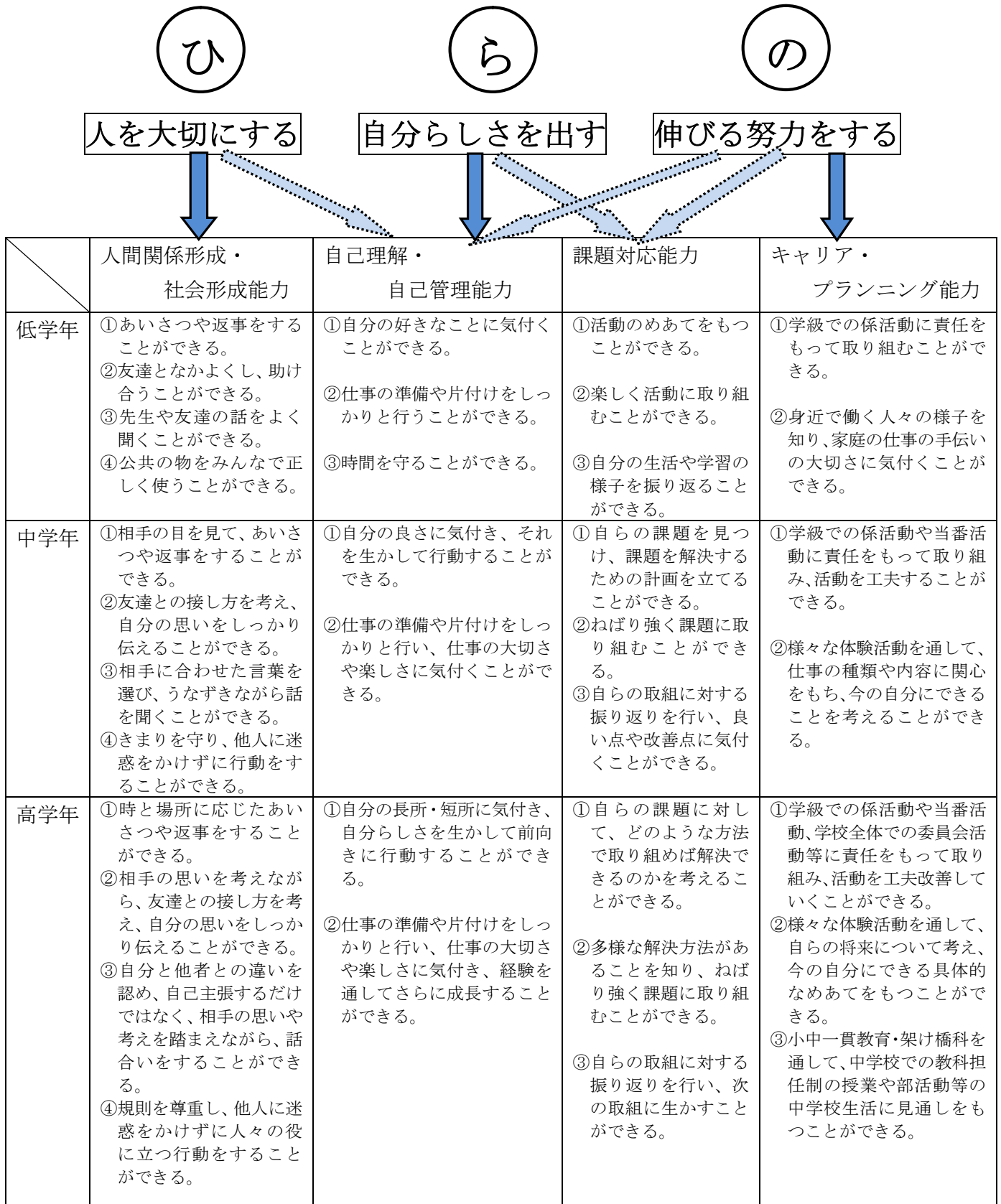
「ひ」…人を大切にする

「ら」…自分らしさを出す

「の」…伸びる努力をする

#### 4 目指す児童像の具体の姿

この目指す児童像を、「キャリア教育で育成する資質・能力」の観点からで、本校児童の実態を捉え直し、目指す児童像の具体の姿を下記のように設定した。



## II 令和4年度の専門部の取組

### 1 授業研究部

#### (1) 目指す児童像の検討

本校では、「ひらの」の頭文字を用いた以下のような目指す児童像を設定している。

「ひ」…人を大切にする 「ら」…自分らしさを出す 「の」…伸びる努力をする

この目指す児童像を、「キャリア教育で育成する資質・能力」の観点から、本校児童の実態を捉え直し、目指す児童像の具体の姿を設定した。

#### (2) キャリア教育に係る年間指導計画の整理

上記のとおり設定した目指す児童像の具体の姿に到達できるようにするために関連の深い各教科等の単元を整理し、下図のようにまとめた。

キャリア教育に係る指導計画 各教科等との関連 (令和4年度版) 蓮田市立平野小学校

	国語	社会	算数	生活・理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	総合・調べ学習	道徳
1年	・どうぞよろしく(4月) ・ききたいなもだちのはなし(5月、9月、1月) ・いいこといっぱい一年生(3月)		・たしざん(通年) ・ひきざん(通年) ・なんじなんぶん(2月)	・がっこうだいすき(4月) ・がっこうたんけん(4月) ・いえのしごとをしちまよう(3学期)	・うたっておどってなかよくならう(4月) ・にはんのうたをたのしもう(1月)	・すきなもののいっぱい(1学期) ・おしらせします!にっこりニュース(2学期)		・ボール運び鬼(3学期)			・あかるいあいさつ(4月) ・となりのジュニールちゃん(10月) ・お正月(12月)
2年	・うれしいことば(6月) ・そうだんにのってほしい(10月) ・わたしはおねえさん(12月) ・すてきなところをつたえよう(2月)		・かけ算(10月)	・1年生となかよしにならう(4月) ・学校探検(4月) ・野菜を育てよう(6月) ・町探検(10月) ・自分探検(12月) ・ありがたう(2月)	・音楽でみんなとなつながらう(4月) ・みんなであわせて楽しもう(3月)	・すきなことなみに(2学期)		・ボール運び鬼(3学期)			・わたしの学校(4月) ・見つけたよ(10月) ・だっこしなから(1月)
3年	・漢字(1学期) ・漢字と和歌(2学期) ・ことわざ(11月) ・筆算(11月) ・読書(10月) ・ローマ字(9月)	・蓮田市の様子(6、8月) ・人々のくらし(19、10月) ・安全な生活(1、2月)	・九九を見なおそう(4月) ・時間と時刻(4月) ・乗算(5、8月) ・わり算(7月) ・かけ算(9、1月)	・しげんのかんさつ(4月) ・風や波のはたつき(11月) ・じしやくのひみつ(1、2月) ・帰郷にむかふ音楽でつながらう(2月)	・歌って響のよさをかんじたらう(5月) ・リコーダーのひびきをかんじたらう(6月) ・帰郷にむかふ音楽でつながらう(2月)	・船の具と水のハーモニー(1学期) ・船を(1学期) ・トントン新町ちんコンゴジエ(2学期) ・のこぎりひいてザクザクザク(3学期)		・タグラグビー(6月) ・水泳(7月) ・ゲイムボール(10月) ・キャッチボールゲーム(12月) ・健康な生活(3学期)	・あいさつをして友達にならう ・アルファベットとなかよし	・わたしたちの草野 ・費ヘタイルスリッパ	・ソフトボールで金メダルを(8月) ・ブルーレンス+ナイザンダグボール(8月) ・すきなことばから集めた手紙(1月) ・メニューにない料理(3月)
4年	筆算の考えをもちあえて、自分の考えを発表しよう(5月) きょうみをもったことを中心に、しようかいしよう(1月)	ごみとすみよくくらし(9月) 社会科学	グラフや表を使って調べよう(5月)	科学者のでん記を読もう(1月)	音楽で心の輪を広げよう(4月) ちいさなひびる音楽に親しまう(7月)	トントントンないで(2学期)		師の良言と健康(2月)	This is my favorite place(2月)	ともに生きる(1、2学期)	へこたれないけんごのきせき(10月) おっちゃんさん 資源製氷(11月) 谷川島にきたたドラマー(12月)
5年	みんなの得意ことやね(6月)	環境化した社会と産業の発展(1月)	割合をグラフに表して調べよう(2月)	科学者のでん記を読もう(2月)	日本の音楽に親しまう(2月) 悪いを無理に生かそう(3月)	あつたらいいな、こんな町(2学期) わたしのおすすめ(2学期)	家族の生活再発見(4月) できるよ、家族の仕事(7月)	心の健康(6月) タグラグビー(10月)	What do you want to study?(6、7月)	「道徳が命ない〜君と私たちの生活〜」(2学期) 世界の果てまで知ろう(3学期) 読物とともに 教育書3冊(9月)	読書に親ばか「読書ファイト」(8月) ミックスマックスの誕生(7月) 読物とともに 教育書3冊(9月)
6年	みんな楽しんで過ごすために(10月) 今、私は、ぼくは 中学校へつなげよう 「生きる」「今、あなたに育まれてはいいこと」(2月)	子育て支援の願いを実現する視座(5月) 世界の未来と日本の役割(3月)	データの持ちようを調べて判断しよう(12月)	表紙に載っている科学者の伝記を読もう(通年)	日本や世界の音楽に親しまう(2学期) 音楽で悪いを伝えよう(3学期)	今の気持ちを形にしよう(1学期) みんなのお話集まるよ(2学期) 夢の新製品(3学期)	生活時間をマネジメント(4月) 持続可能な社会を生きる(3月)	ボール運動(2学期)	My Future, My Dream(2月)	見てこよう、聞いてこよう、触れてこよう(2学期) 中学校への架け橋(3学期)	チェコシマラ横断歩道(6月) 心はふる風(7月) こだわりのイナバウアー(11月) 常陸の発展(3月)

#### (3) 学級活動の授業展開における黒板表示の統一

学級活動の授業を展開するにあたっての授業の流れをわかりやすく示すための黒板表示を全学年で統一して、授業を行うようにした。



#### (4) 各学年における主な実践事例

##### ① 1年 生活科「ありがとうがいっぱい」



キャリア教育の視点 低学年 課題対応能力③

映像や写真で1年間の様子を振り返り、自分の成長に気づくことができるようにした。

##### ② 2年 学級活動「あいさつ名人になろう」



キャリア教育の視点 低学年 人間関係形成・社会形成能力① 課題対応能力①

気持ちのよい挨拶の仕方をロールプレイを通して考え、実践に生かせるようにした。

##### ③ 3年 学級活動「4年生に向けて」



キャリア教育の視点 中学年 課題解決能力①、②、③

次学年への見通しを持たせ、グループでの対話を通して、自分に合った目標を設定した。

④5年 道徳「まんがの神様」



キャリア教育の視点 高学年 自己理解・自己管理能力①  
友達から見た自分の長所が書かれたカードを用いて、自分らしさについて考えた。

⑤6年 学級活動「これからの自分について考えよう」



キャリア教育の視点 高学年 自己理解・自己管理能力① キャリア・プランニング教育②  
自分の長所、可能性に目を向け、自らの将来について考え、具体的なめあてを設定した。

(4) 異学年交流における実践事例

①全校 縦割り班でのなかよし給食・縦割り班遊び



キャリア教育の視点 高学年 人間関係形成・社会形成能力④ キャリア・プランニング能力①  
縦割り班での異学年交流活動により、高学年のリーダーシップの育成をねらった。

②6年 国語「みんなで楽しく過ごすために」



キャリア教育の視点 高学年 人間関係形成・社会形成能力②  
相手意識をもち、1年生に楽しんでもらえるような企画の話合いを行い、催しを行った。

③2年、3年 合同校外学習（2年生活、3年社会）



キャリア教育の視点 低・中学年 人間関係形成・社会形成能力①④  
時と場に応じたあいさつ、公共の場での行動を実践する場として校外学習を実施した。

(5) 小中一貫教育と関連させた実践事例

6年、中学校1年 架け橋科「中学校への架け橋」



キャリア教育の視点 高学年 キャリア・プランニング能力③  
中学校での授業や部活動を体験し、中学校生活への見通しを持たせるようにした。

## 2 調査・環境部

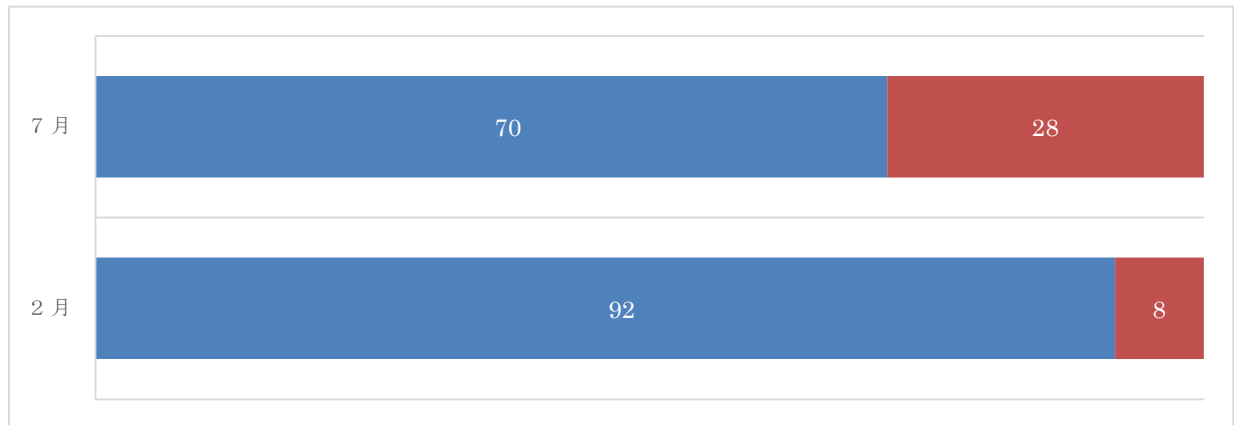
### (1) 児童の実態調査の実施

#### ①調査結果

キャリア教育に係わる実態調査を令和4年7月、令和5年2月の年間2回行い、変容を見取った。  
以下にその結果を示す。

・あなたには、将来の夢や目標がありますか。

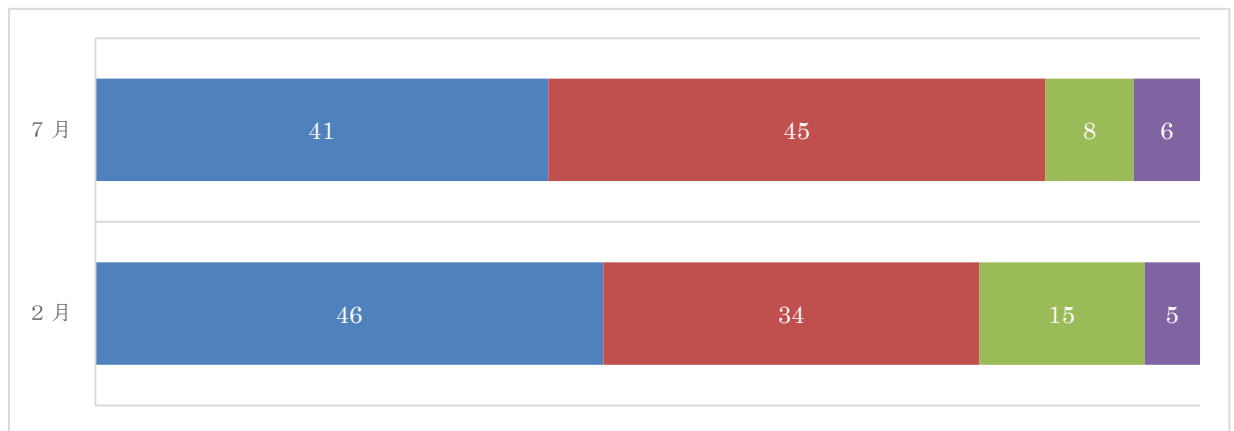
■ : ある ■ : ない



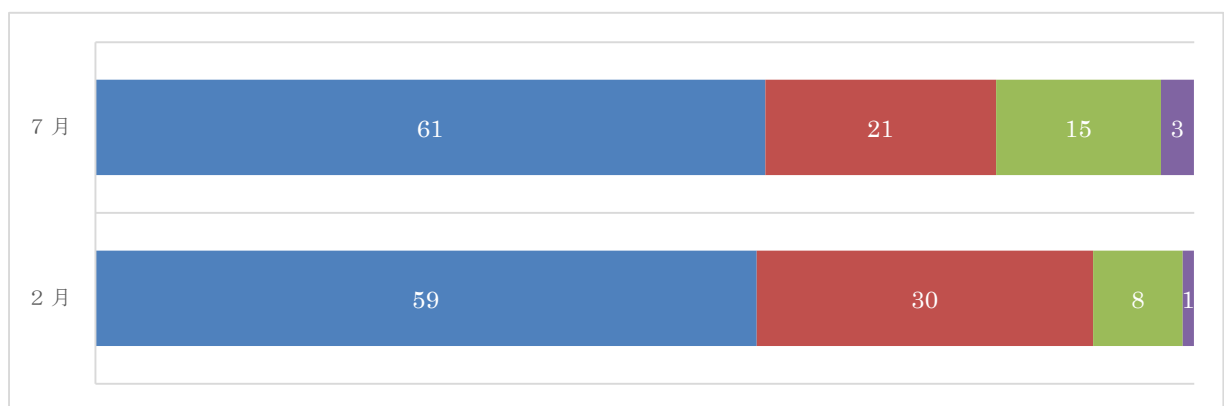
・あなたは自分のよさがあると思いますか。

■ : とてもそう思う ■ : どちらかといえばそう思う

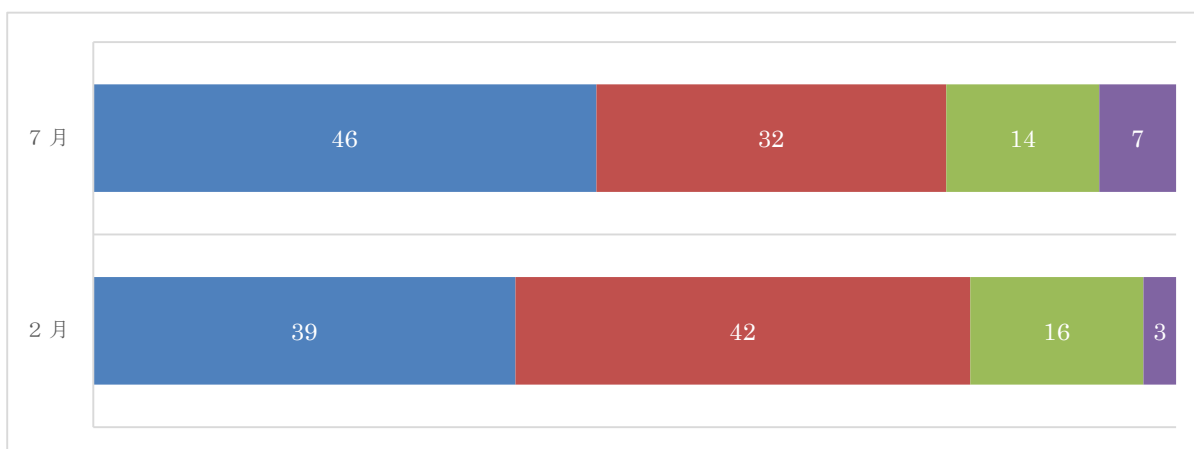
■ : どちらかといえばそう思わない ■ : そう思わない



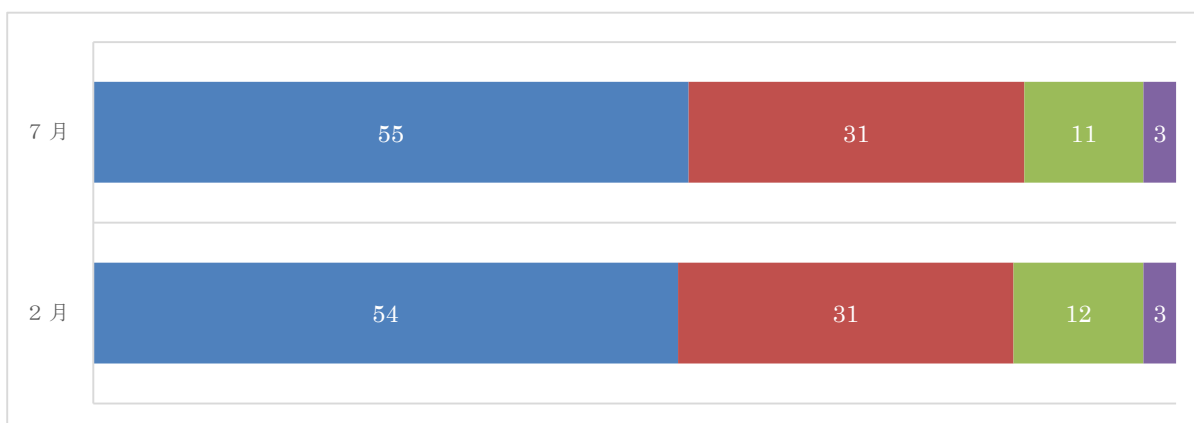
・自分の興味や関心、長所や短所などについて、自分で知ろうとしていますか。



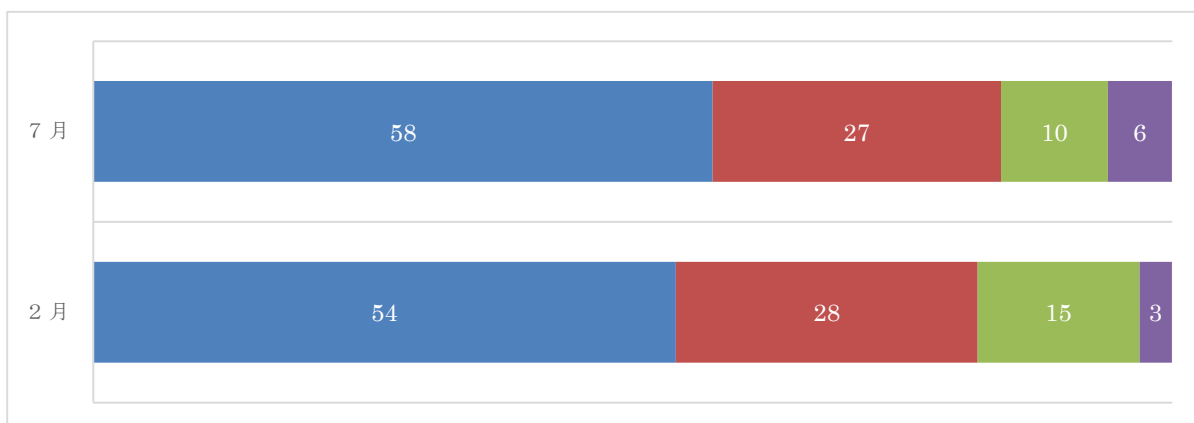
- 何かをするとき、見通しをもって計画的に進めたり、そのやり方などについて改善を図ったりしていますか。



- 学ぶことや働くことの意義について考えたり、学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしていますか。



- 自分の将来について具体的な目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。





②考察

- ・「将来の夢や目標がある」と回答した児童が70%から92%へと22%増加した。また、「自分の興味や関心、長所や短所などについて、自分で知ろうとしている」と回答した児童が「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合が82%から89%へと増加した。学級活動や道徳の授業を中心に「キャリア教育で育成する資質・能力」の観点をもった取組を行った成果であると考えられる。
- ・その他の質問においては、顕著な変容は見られなかった。今年度研究で得た成果を生かして、引き続き、継続した取組を行っていきたい。

(2) 校内掲示環境の整備

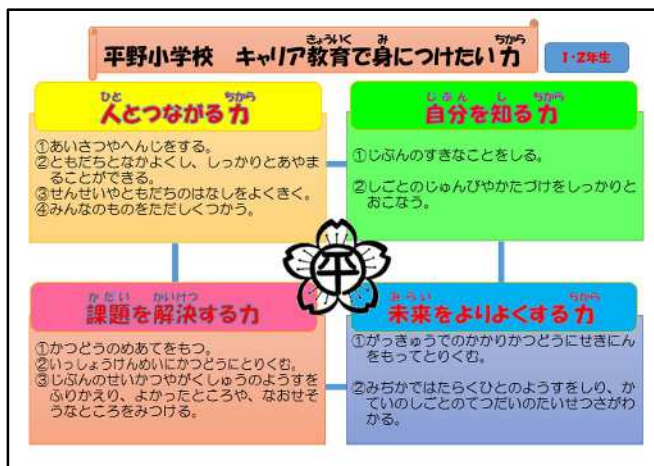
①にこにこの木

人権教育部会と連携し、毎月25日を「にこにこデー」として、～  
 全校児童の目に触れる機会の多い2階廊下に「にこにこの木」を設置し、友達や他学年の児童に向けた温かいメッセージを掲示している。



②目指す児童像の具体的な姿の教室掲示・壁面掲示

授業研究部を中心に検討を重ねて、「キャリア教育で育成する資質・能力」の観点で整理した目指す児童像の具体的な姿を示した掲示物を各教室に設置した。さらに多くの児童が目にする廊下壁面に全学年分の掲示を行っている。



### Ⅲ 成果と課題

令和4年度より、蓮田市教育委員会の研究委嘱を受け「キャリア教育」の推進に取り組んできた。下記にその成果と課題をまとめる。

#### 1 成果

- ・「キャリア教育」の考え方を全職員で共通理解することができ、日々の授業の中で目指す児童像を意識できるようになった。
- ・学級活動（3）の授業展開や板書計画について、共通理解が図られた。
- ・「キャリア教育に係る年間指導計画」の作成、追記を行ったことで、学級活動以外の教科・領域の中での「キャリア教育」についての意識づけができた。
- ・これまで継続的に取り組んできた平野小中一貫教育の取組と関連させたキャリア教育の事例を蓄積することができた。
- ・全学年単学級の本校の特色を生かした異学年交流の活動も多く実践することができ、発達段階に応じ、他学年との関わり方を学ぶ機会を設けることができた。
- ・令和2年度から蓄積しているキャリア・パスポートを授業や活動の中で活用する方法を学び、児童自らが、過去の自分を振り返りながら自己決定をする学習活動を行うことができた。

#### 2 課題

- ・今年度作成した年間指導計画を改善していき、より具体的かつキャリア教育で育成する資質・能力を身につけられるような学習活動を工夫していく必要がある。
- ・平野小・中学校区学校運営協議会、PTAとも連携し、児童のよりよい育ちを支援していけるよう積極的な情報発信を行っていく。
- ・縦割り班活動や異学年交流活動を計画的に位置付けて、積極的に取り組んでいく。
- ・小中一貫教育の取組とも関連させ、義務教育9年間でつながりのある指導・支援を行えるような体制を構築していく。
- ・地域の特性も重なり、児童が多様な大人と関わるのが少ない実態がある。学習内容に応じて、地域の方や多様な職業の方をゲストティーチャーとして招聘した学習活動を積極的に行っていく。

#### 3 今後に向けて

以上のように、令和4年度の1年間の研究の中で多くのものを得ることができ、今後目指していく方向性を明確にすることができた。キャリア教育の取組が真に成果をもたらすのは、児童たちが社会に出て活躍する“未来”である。その“未来”に向け、今後も全教職員で一致協力をし、目指す児童像の具現化に向けて教育活動に取り組んでいく。